

科目名	こどもと文化Ⅰ		担当教員	深谷ベルタ・池谷 潤子 高森 智子		
			担当形態	複数		
テキスト	特になし。	単位数 授業形態	1単位	演習	開講時期	前期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本やパネルシアター、手あそびなど、児童文化財についての知識を身につけ、実践することができる。 ・課題について適切な資料を用いて調べ、まとめることができる。 ・配布された資料を分類・整理して、ポートフォリオを作成することができる。 <p>■授業の概要</p> <p>子どもが成長していく上で、児童文化財との関わりを無視することはできない。この授業では、子どもの文化を言葉及び物語文化、子どものあそび文化の視点から整理し、その内容と意義について理解すると共に、子どもの文化の伝承の変遷から伝承することの意義を考える。様々な児童文化財について講義による知識の習得を図るとともに、実際に取り組むことで技能を身につける。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 授業ナビゲーション「子どもにとっての“文化”とは」</p> <p>第2回 絵本の不思議</p> <p>第3回 絵本の読み聞かせをしてみよう</p> <p>第4回 紙芝居から見る児童文化</p> <p>第5回 紙芝居を演じてみよう</p> <p>第6回 言葉とイメージで広がるお話の世界</p> <p>第7回 素話を語ろう</p> <p>第8回 手あそびとわらべ歌・童謡について学ぶ・実践する</p> <p>第9回 オノマトペと言葉あそびについて学ぶ・実践する</p> <p>第10回 子どものおもちゃが果たす役割</p> <p>第11回 素材あそびを楽しもう</p> <p>第12回 パペットを作ろう</p> <p>第13回 パペットで演じよう</p> <p>第14回 お話を身体で表現しよう</p> <p>第15回 実技試験、まとめ</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに応じて、事前に出した課題を元に授業を行うことがあります。各自準備をした上で、授業に臨んでください。 ・授業後に、テーマに応じたワークシートを作成します。作成したシートはポートフォリオに保管し、指定された期日までに提出してください。 ・その他、必要に応じて課題が出る場合があります。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオの内容 — 40% ・実技や発表課題 — 40% ・授業への参加態度（活動への積極的な取り組み、発言内容等） — 20% 						
参考文献	授業中に適宜示します。		特記事項	<準備するもの> クリアポケットフォルダー（40ポケット型・A4サイズ）		
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状選択必修 保育士資格選択必修		幼	教科に関する科目		
			保	保育の表現技術		